

# システム開発の事業拡大へ

オリジナル設計

## クラックスシステムの全株式取得

オリジナル設計は、自  
治体向けのGISシステ  
ムと様々な産業分野の基

盤システムや業務系シス  
テムの開発で高い実績を  
持つクラックスシステ



成約証明書を手にする宮崎代表取締役(前列左から3人目)と菅社長(同4人目)ら関係者

社にとつて相乗効果があるものだと確信しており、両社のさらなる発展につながるようにしていきたい」と株式取得の意義を強調した。

宮崎代表取締役は、「今回の株式譲渡を検討した背景として、ビッグデータやAI、量子コンピュータといったものがつながつて大革新が起ころうことが予測される中、それに対応するためには力のある企業と一緒にすることが重要だというのがあった。成約式を迎えることができ関係者の皆様に感謝申し上げます。今後も技術力を磨き、今後起こる大変革を牽引していく存在になりたい」と意気込みを語った。

成約式ではこのほか、花束贈呈やテーブルカット、記念撮影、鏡開きが行われた。

菅社長は、「当社は、社会に広く普及する前からコンピューターを導入し、管路の自動設計システムを開発したことで、少ない技術者で設計業務を行い大きく飛躍するきっかけとなった。クラックスシステムにはポテンシャルがあり、社員教育の面でも共通した考えがあることも伺っている。今回の株式取得は両

近年、老朽化が進む水インフラの維持管理・更新のマネジメント需要が高まる中、オリジナル設計は豊富な経験とシステム開発力を基に、施設情報管理やアセットマネジメントシステム構築など、ソリューション・システムを駆使したコンサルティングサービスに注力している。

# 全株式の取得で成約式

## オリジナル設計・クラックスシステム



固い握手で資本業務を正式に成約 (右が菅社長)

オリジナル設計(菅伸彦代表取締役社長)は1月17日、大阪市内でクラックスシステム社(宮崎晋輔代表取締役)の全株式取得に伴う成約式を執り行った。昨年12月開催の取締役会でM&Aによる全株式取得する決議を可決。今回の重要物品授受と成約証明書への署名によって正式に株式譲渡が成立した。将来的な上下水道事業の姿への対応・構築・連携強化に加え、ウォーターPP事業の強化や新規市場の開拓を目指していく。

### DX進展の流れを受けて

クラックスシステム社 企業の開発を展開している。高度な自治体向けのGISシステムと水道・電気・鉄道分野の社会基盤システムや業務システム・設計・監理等のコンサルティング業務を展開している企業。

上下水道を軸に水インフラに関する調査・計画・設計・監理等のコンサルティング業務を展開している。高度な自治体向けのGISシステムと水道・電気・鉄道分野の社会基盤システムや業務システム・設計・監理等のコンサルティング業務を展開している企業。

今回のDX進展の流れを受けて、土地勘のある領域内で持続的な成長と事業の領域拡充を実現するために業務提携や資本提携、M&Aの可能性を模索していた。現代の新たな付加価値の源泉はソフトウェア開発やシステム開発にあると考える。この強化がワンストップサービスの提供を実現する上で重要な柱になるとした。情報処理分野におけるソフトウェア開発力を持つ企業とシステム開発力の強化を図るため、クラックスシステム社の株式取得に踏み切

った。老朽化が進む水インフラの維持管理・更新のメンテナンス需要が高まっている。同社は、高度なシステムノウハウを生かすことで、競争力が高い分野をさらに強化するとともに、上下水道事業のDX化も加速させて、インフラの維持管理における効率化・最適化の推進につなげたいとしている。将来的には、BIM/CIIMのさらなる活用や3D都市モデルとの連携を通じて、地域の防災対策やインフラメンテナンスの高度化にも貢献したいとする。

また、既存コンサルティングサービスにおけるシステム開発による機能強化や更新等で、アウトソーシングしている一部または全てのグループ内での内製化も検討している。クラックスシステム社は、同社主要取引先ベ

ンダーのシステム開発にエンジニア等がつながる大規模な人材を抱えているため、顧客のシステム開発ニーズに引き続き応えていくことに加え、M&Aによる相乗効果でさらなる提案力向上も追求したい考えた。

成約式であいさつに立った宮崎代表取締役は「今後、AIや量子コンピューティング等が広がる大規模な人材を抱えているため、顧客のシステム開発ニーズに引き続き応えていくことに加え、M&Aによる相乗効果でさらなる提案力向上も追求したい考えた。」と期待できるように話した。今までも持つべき技術力を高めることだけでなく、今後の大革新や革命に追い付き引越張っている存在になりたいと思

ある企業を探していた。オリジナル設計との出会いは想像していなかったが、われわれで新たな融合のようなことを起こせると期待できるように話した。菅社長は「私どもの創業者も苦労しながら当社の連携に向けた考えを述べた。成長のポ

テシヤルを止めることなく、一層の飛躍に向けて全社を挙げて進めていきたい。両者が相乗効果を上げられることがあれば、ディスカッションで確認し、話し合いながら両者が発展できる道を模索していきたい」と今後の連携に向けた考えを述べた。

オリジナル設計

# クラックスS社子会社化

## DX進展に弾み

オリジナル設計(管伸彦社長)は1月17日、大阪市内でクラックスシステム社(宮崎晋輔代表取締役)の全株式取得に伴う成約式を執り行った。昨年12月開催の取締役会

でM&Aによる全株式を取得する決議を可決。今回の重要物品授受と成約証明書への署名によって正式に株式譲渡が成立した。

ともに、将来的な上下水道事業の変革への対応・構築・連携強化に加え、ウォーターPPF事業の強化や新規市場の開拓を目指していく。

上下水道を軸に水インフラに関する調査・計画・設計・監理等のコンサルティングサービスを中心とするオリジナル設計は、昨今のDX進展の流れを受けて、知見のある領域内で持続的な成長と事業の領域拡充を実現するために業務提携や資本提携、M&Aの可能性を模索していた。現代の新たな付加価値の源泉はソフト開発やシステム開発にあると考え、この

強化がワンストップサービスの提供を実現する上で重要な柱になるとした。情報処理分野におけるソフト開発力を持つ企業とシステム開発力の強化を図るため、クラックスシステム社の株式取得に踏み切った。

また、既存コンサルティングサービスの中におけるシステム開発による機能強化や更新等で、アウトソーシングしている一部または全ての内製化をグループ内で検討している。クラックスシステム社は、同社主要取引先ベンダーのシステム開発に精通した人材を抱えているため、顧客のシステム開発ニーズに引き続き応えていくことに加え、M&Aによる相乗効果をさらなる提案力向上も追求したい考えだ。

「今後、AIや量子コンピュータ等が予想される革新が起ると予想されているが、われわれの力だけでは追いつくことは難しいと考え、技術力と業務知識が生かせる力の



固い握手で資本業務を正式に成約

は、高度な自治体向けのGISシステムと水道・電気・鉄道分野の社会基盤システムや業務系システムの開発を展開している企業で、グループプリンク化によりDX進展に弾みをつけること

新のマネジメント需要が高まっている。同社は、高度なシステムノウハウを生かすことで、競争力が高い分野をさらに強化するとともに、上下水道事業のDX化も加速させて、インフラの維持管理における効率化・最適化の推進につなげたいとしている。将来的には、BIM/CIMのさらなる活用や3D都市モデルとの連携を通じて、地域の防災対策やインフラマネジメントの高度化にも貢

献したいとする。また、既存コンサルティングサービスの中におけるシステム開発による機能強化や更新等で、アウトソーシングしている一部または全ての内製化をグループ内で検討している。クラックスシステム社は、同社主要取引先ベンダーのシステム開発に精通した人材を抱えているため、顧客のシステム開発ニーズに引き続き応えていくことに加え、M&Aによる相乗効果をさらなる提案力向上も追求したい考えだ。

「今後、AIや量子コンピュータ等が予想される革新が起ると予想されているが、われわれの力だけでは追いつくことは難しいと考え、技術力と業務知識が生かせる力の

ある企業を探していた。オリジナル設計との出会いは想像していなかったが、われわれで新たな融合のようなことを起こせると期待できるようなってきた。今まで持っていた技術力を高めることで、今後の大革新や革命に追い付き引張っている存在になりたいと思っている」と意気込みを語った。

管社長は「私どもの創業者も苦労しながら当社を育ててきた。成長のポテンシャルを止めることなく、一層の飛躍に向けて全社を挙げて進めていきたい。両者に相乗効果を生み出せることがあれば、ディスプレイョンで確認し、話し合いながら両者が発展できる道を模索していきたい」と今後の連携に向けた考えを述べた。